

「第22回電撃大賞」応募総数速報

小説大賞、イラスト大賞、コミック大賞の3部門で 応募総数5,650作品

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)アスキー・メディアワークスが、次代を創造するエンターテイナーの発掘・育成を目的に主催しております「電撃大賞」は、4月10日に第22回に応募締め切りを迎え、今回も多数の作品をお寄せいただきました。このたび、第22回に応募総数の集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

電撃大賞では、電撃小説大賞(小説部門)、電撃イラスト大賞(イラスト部門)、電撃コミック大賞(コミック部門)の3部門において、ジャンルを問わず作品を募集しております。特に電撃小説大賞は、小説新人賞としては国内最大級の応募数を誇っております。今回の第22回では、電撃大賞全体の応募総数は、3部門合計で5,650作品となりました。

「第22回電撃大賞」応募総数 5,650作品

【電撃小説大賞】	4,580 作品 (長編:3,169 作品／短編:1,411 作品)
【電撃イラスト大賞】	677 作品
【電撃コミック大賞】	393 作品

応募作品は現在選考中で、電撃小説大賞・電撃イラスト大賞・電撃コミック大賞の1次選考通過作品は7月10日以降に電撃大賞公式サイトおよび電撃の各誌にて発表いたします。その後、2次～4次選考(電撃イラスト大賞・電撃コミック大賞は～3次選考)、最終選考を経て、受賞作品を決定いたします。受賞作品の発表は、10月に『電撃文庫MAGAZINE』誌上と電撃のコミック各誌および電撃大賞公式サイトにて行う予定です。なお、電撃小説大賞・電撃イラスト大賞・電撃コミック大賞の1次選考以上の通過者には、編集部より選評をお送りいたします。

アスキー・メディアワークスでは、電撃小説大賞において入賞した作品はもちろん、惜しくも選に漏れた作品の中からも、電撃文庫、メディアワークス文庫などで書籍化しており、これまで数多くの人気作品を刊行、人気作家を育ててまいりました。電撃イラスト大賞受賞者からも人気イラストレーターが多数誕生し、カバーイラストなどで活躍しております。電撃コミック大賞受賞者も、前身となるコミック新人賞「電撃コミックグランプリ」受賞者から多くのコミック作家が誕生しており、電撃のコミック各誌で活躍しております。今後も、本大賞が新しい時代のエンターテイナーの登竜門として認知されますよう、さらに幅広い才能の発掘を目指し努力してまいります。

5月10日より、第23回電撃大賞の作品応募の受付を開始いたしました。締め切りは2016年4月10日を予定しております。また、今回より小説部門およびコミック部門の「コミック原作作品」は、従来の郵送応募に加え、ウェブ応募が可能となりました。

<ご参考>

■「電撃大賞」とは

「電撃大賞」は1993年、作家・イラストレーターの新入登竜門「電撃ゲーム3大賞」としてスタート、第12回(2004年度募集)より「電撃大賞」に改称されました。受賞作品の多くは「電撃文庫」として出版されており、第16回受賞作品からは、「メディアワークス文庫」としても作品を刊行しております。

小説部門の「電撃小説大賞」からは多くの人気作家を輩出し、『ブギーポップは笑わない』(著/上遠野浩平・第4回大賞)、『灼眼のシャナ』(著/高橋弥七郎・第8回選考委員奨励賞)、『図書館戦争』シリーズ(著/有川浩・第10回大賞)、『境界線上のホライゾン』(著/川上稔・第3回金賞)、『狼と香辛料』(著/支倉凍砂・第12回銀賞)、『神様のメモ帳』(著/杉井光・第12回銀賞)、『アクセル・ワールド』(著/川原礫・第15回大賞)、『ロウきゅーぶ!』(著/蒼山サグ・第15回銀賞)、『はたらく魔王さま!』(著/和ヶ原聡司・第17回銀賞)、『ゼロから始める魔法の書』(著/虎走かける・第20回大賞)などの人気作品が生まれてきました。2015年度は『デュラララ!!』(著/成田良悟・第9回金賞)が7月よりTVアニメ第2期[転]編の放送を予定しており、多くの作品が小説だけに留まらず、アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、舞台など、さまざまなメディア展開を行っています。

イラスト部門の「電撃イラスト大賞」受賞者も文庫のイラストなどを多数手がけており、単行本『図書館戦争』(著/有川浩・第10回大賞、イラスト/徒花スクモ・第10回金賞)、メディアワークス文庫『ビブリア古書堂の事件手帖』(著/三上延、イラスト/越島はぐ・第15回銀賞)、電撃文庫『インテリビレッジの座敷童』(著/鎌池和馬、イラスト/真早・第17回金賞)、メディアワークス文庫『心理コンサルタント才希と心の迷宮』(著/似鳥航一、イラスト/三村勇貴・第18回大賞)、『博多豚骨ラーメンズ』(著/木崎ちあき・第20回大賞、イラスト/一色箱・第20回大賞)など、目覚ましい活躍を見せております。

コミック部門の「電撃コミック大賞」は第21回から新設された部門です。『マブラヴ オルタネイティヴ』(蔭島 梓)、『NOT LIVES』(烏丸 渡)、『この美術部には問題がある!』(いみぎむる)、『ふつつかな父娘ではありませんが』(長神)など、本部門の前身である電撃のコミック新人賞「電撃コミックグランプリ」から誕生したコミック作家も多数活躍しております。

●電撃大賞公式サイト: <http://dengekitaisho.jp/>

●電撃大賞公式Twitterアカウント: @dengeki_taisho

■「第23回電撃大賞」主な応募要項

●応募ジャンル:

電撃小説大賞(小説部門)

電撃イラスト大賞(イラスト部門)

電撃コミック大賞(コミック部門)

●賞(小説・イラスト・コミック部門共通):

大賞＝正賞＋副賞 300万円

金賞＝正賞＋副賞 100万円

銀賞＝正賞＋副賞 50万円

<小説部門のみ>

メディアワークス文庫賞＝正賞＋副賞 100万円

電撃文庫MAGAZINE賞＝正賞＋副賞 30万円

●最終締め切り: 2016年4月10日(当日消印有効)

●応募方法: 郵送(応募締め切り当日の消印有効) もしくは「電撃大賞」公式サイト掲載の 応募フォームよりウェブ応募

●選考方法:

締め切り後、小説部門は1次～4次、イラスト・コミック部門は1～3次の選考を行い、最終候補者を選出。2016年8～9月に、最終選考委員により大賞および各賞の受賞作品を決定します。

The screenshot shows the Dengekitaisho website homepage. At the top, there's a navigation bar with links for '電撃小説大賞', '電撃イラスト大賞', and '電撃コミック大賞'. The main content area features a large banner for the 23rd Dengekitaisho Awards, with the text '23rd 電撃大賞' and '圧倒的な“最高”を求む!'. Below the banner, there's a section for the 21st Dengekitaisho Awards, with the text '第21回電撃大賞' and 'Web応募スタート!'. The page also includes a sidebar with navigation links and a footer with contact information.

↑ 電撃大賞公式サイトトップページ

【電撃小説大賞】(小説部門)

募集内容:

オリジナルの長編および短編小説。ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほかジャンルを問わず。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)

選考委員(敬称略):

高畑京一郎(作家)、時雨沢恵一(作家)、佐藤竜雄(アニメーション演出家)、宇田 充(アスミック・エース 映画制作部GM/プロデューサー)、鈴木一智(アスキー・メディアワークス事業局 統括部長)、三木一馬(電撃文庫編集長、電撃文庫MAGAZINE編集長)、佐藤達郎(メディアワークス文庫編集長)

【電撃イラスト大賞】(イラスト部門)

募集内容: 未発表(他の公募に応募中の作品も不可)のオリジナル作品。

選考委員(敬称略):

天野喜孝(画家、イラストレーター)、出淵 裕(デザイナー、イラストレーター、アニメーション監督)、衣谷 遊(漫画家)、緒方剛志(イラストレーター)、いとうのいぢ(イラストレーター、ゲーム原画家)、和田 敦(文庫プロデュース課編集長、電撃文庫編集長代理)

【電撃コミック大賞】(コミック部門) ※第21回より新設

募集内容:

◆オリジナルコミック作品

オリジナルのコミック作品。ファンタジー、SF、ミステリー、恋愛、歴史、ホラーほかジャンルを問わず。未発表の日本語で書かれた作品に限る(他の公募に応募中の作品も不可)

◆コミカライズ作品

電撃文庫・メディアワークス文庫を課題作品としてコミック化した作品。

◆コミック原作作品

未発表のオリジナル作品の原作。ネーム(絵コンテ)またはテキストによる応募

選考委員(敬称略):

大河内一楼(アニメーション脚本家)、高河ゆん(漫画家)、綱島志朗(漫画家)、吉積 信(株式会社バンダイナムコエンターテインメント『テイルズ オブ』シリーズ 統括プロデューサー)、鈴木一智(アスキー・メディアワークス事業局 統括部長)、梅澤 淳(アスキー・メディアワークス事業局 第1編集部担当部長)

■「電撃文庫」とは

1993年6月創刊の文庫レーベル。「電撃文庫」ではこれまで、ファンタジー、SF、ミステリー、ホラー、ラブコメなど、ジャンルを問わないオリジナルなエンターテインメント作品を刊行してまいりました。『とある魔術の禁書目録(インデックス)』(シリーズ累計1,543万部)をはじめ、『灼眼のシャナ』(同860万部)、『キノの旅』(同800万部)、『俺の妹がこんなに可愛いわけがない』(同500万部)、『デュラララ!!』(同530万部)、『アクセル・ワールド』(同420万部)、『ソードアート・オンライン』(同1,070万部)、『はたらく魔王さま!』(同200万部)、『魔法科高校の劣等生』(同620万部)など数多くの大人気シリーズを生み出しています。2015年は『デュラララ!!』のTVアニメ第2期[承]編が1月より放送され、7月には[転]編が放送開始予定、10月からは『ヘヴィーオブジェクト』(シリーズ累計74万部)のTVアニメ化も予定しております。現在活躍中の人気作家の多くは、創刊と同年にスタートした作家・イラストレーターの新人登竜門「電撃大賞」より誕生しています。アニメ、コミック、実写映画、ゲーム、音楽など、さまざまなメディアミックス展開も行っており、「電撃文庫」は幅広い層の方々に楽しんでいただいております。毎月10日発売。

●「電撃文庫」公式サイト: <http://dengekibunko.dengeki.com/>

■「電撃文庫MAGAZINE」とは

2008年4月創刊「電撃文庫ファンのための最強エンタテインメントマガジン」。電撃文庫の人気シリーズやアニメ化が決定した作品の情報、人気シリーズの書き下ろし短編などを掲載し、電撃文庫を一層楽しむためのさまざまな企画が詰まった雑誌です。フィギュア、ドラマCD、ポスター、ステーションナリーなど、毎号付く豪華オリジナル付録も人気となっています。偶数月10日発売。

●「電撃文庫MAGAZINE」公式サイト: <http://dengekibunco.dengeki.com/magazine/>

■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊の、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、シリーズ累計600万部を突破した『ビブリア古書堂の事件手帖』（著／三上延）のほか、『0能者ミナト』（著／葉山透、累計発行53万部）、『神様の御用人』（著／浅葉なつ、同50万部）、『探偵・日暮旅人』シリーズ（著／山口幸三郎、同40万部）などのヒット作品が生まれています。毎月25日発売。

●「メディアワークス文庫」公式サイト: <http://mwbunco.com/>

■電撃ブランドのコミックについて

電撃ブランドでは、最強コミックマガジン「月刊コミック電撃大王」（毎月27日発売）を中心に、4コマ&ギャグ専門の「コミック電撃だいおうじ」（毎月27日頃発売）、ゲーム・コミック誌「電撃マオウ」（毎月27日発売）、女性向けの「シルフ」（毎月22日発売）など、複数のコミック誌を展開しています。「電撃コミック大賞」の前身「電撃コミックグランプリ」やコミック各誌が行っている新人賞の受賞者は、オリジナル作品やゲーム・アニメなどのコミカライズ作品を手掛け、「電撃コミックス」（毎月27日発売）、「電撃コミックスNEXT」（毎月10日・27日発売）、「電撃コミックスEX」（毎月27日発売）、「シルフコミックス」（毎月22日発売）などのコミックスレーベルから多数発売されています。

●電撃コミックWEB: <http://dc.dengeki.com/>

■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、「電撃」「アスキー」「魔法のいらんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWA公式サイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA
アスキー・メディアワークス
<http://asciimw.jp/>